

船舶事故調査報告書

平成28年5月26日

運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故種類	衝突（養殖筏 ^{いかだ} ）
発生日時	平成27年5月10日 23時55分ごろ
発生場所	香川県高松市庵治漁港西方沖 庵治漁港一文字防波堤北灯台から真方位261° 1,880m付近 （概位 北緯34° 23.1′ 東経134° 06.1′）
事故の概要	プレジャーボート ^{レジャーボート} SHOSEIは、南東進中、養殖筏に衝突した。 SHOSEIは船底に擦過傷を、また、養殖筏は手すりに破損を生じた。
事故調査の経過	平成27年5月18日、調査を担当する主管調査官（広島事務所）を指名 原因関係者から意見聴取実施済み
事実情報	
船種船名、総トン数	プレジャーボート SHOSEI、2.6トン
船舶番号、船舶所有者等	280-40878香川、有限会社サロン・ド・グラス田中
乗組員等に関する情報	船長、二級小型・特殊・特定
負傷者	なし
損傷	本船 船底に擦過傷 養殖筏 手すりに破損
気象・海象	気象：天気 曇り、風向 東南東、風力 3、視界 良好 海象：海上 平穏
事故の経過	本船は、釣りを終えて帰港することとし、庵治漁港西方沖を約10ノットの対地速力で南東進した。 船長は、庵治漁港沖に設置された養殖施設（以下「本件施設」という。）内において、養殖筏で形成された水路を航行する際、過去に養殖筏を視認しながら同水路を航行したことがあったので、GPSプロッターに当時の航跡を表示させ、同航跡に沿って養殖筏に取り付けられた標識灯の灯火の間に向ければ同水路を航行できると思い、GPSプロッターを見ながら航行していたところ、養殖筏に衝突した。 本船が衝突した養殖筏には、赤色の標識灯が設置されていた。
分析	本船は、夜間、本件施設内において、養殖筏で形成された水路を航行する際、船長が、養殖筏の存在を認識していたものの、GPSプロッターに表示させた過去の航跡に沿って航行すれば通過できると思い、見張りを適切に行っていなかったことから、養殖筏に設置された標識灯の灯火の近くを航行する態勢となっていることに気付かなかったものと考えられる。
原因	本事故は、夜間、本件施設内において、養殖筏で形成された水路を航行する際、船長が、GPSプロッターに表示させた過去の航跡に沿って航行すれば通過できると思い、見張りを適切に行っていなかった

	ため、本船が養殖筏に衝突したことにより発生したものと考えられる。
参考	今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考えられる。 ・ 常時適切な見張りを行うこと。